

父の建設現場 子が仕事体験

薩摩川内



子どもたちは、父や祖父の手ほどきでパワーショベルやブルドーザーを操作したり、高所作業車のさ40層の高所作業車に乗って眺めを楽しんだ。測量機器で川の見学会「おやじの日」の対岸までの距離を当が17日、薩摩川内市大なるクイズもあった。小路町の川内川右岸堤 田島組の重機オペレ防工事現場であった。1ター松尾浩幸さん約150人が参加し、(39)は息子の拓美ちゃん(6)、翼ちゃん(2)を連れて参加。「一緒に重機に乗ることができ、良い機会だった」。拓美ちゃんは「お父さんの仕事場は初めて。かつよかった」と話した。(常深さゆり)

重機の操作や測量を体験した写真。
国土交通省川内川河川事務所と、河川工事に携わる建設会社などでつくる川内出張所安全連絡協議会の共催。

仕事見学会「おやじの日」

楽しい時間を共有

おとっさんの仕事見学会「おやじの日」が17日、薩摩川内市大小路地区の川内川河川敷で行われ、

従事者とその家族ら約200人が参加して楽しい時間を共有した。建設会社社員や発注者の家族に、現場で活躍する姿を見てもらうことで、子供たちに夢を



土木従事者とその家族らでにぎわうイベント会場＝薩摩川内市の現地

の家族に、現場で活躍する姿を見てもらうことで、子供たちに夢を

持つってもらうことなどが目的。川内川河川事務所川内出張所管内安全連絡協議会の6社と、同出張所(山下裕所長)の共催で行われた。

初めに、主催者を代表して山下所長が「家庭では見られないお父さん、ご主人の姿を見る貴重な日。短時間になるが楽しく過ごしてもらいたい」と挨拶。50m級の高所作業車やバックホウの試乗体験、ICT建機の模擬施工など、流れに沿って体験。また、仮設フードコートでは豚汁なども振る舞われるなど、楽しそうに親子で会話をしていた。

参加企業は次の通り。
植村組 田代組 田島組 外園建設工業 開成工業 ミソタ

参加企業の子供たち お父さんみたいに

見学会には、各企業からも多く技術者が子どもと一緒に訪れた。

◀◀ 田代組の比志島康平土木部長補佐は、地生(ちせい)くん、匠生(しょうせい)くん、悠生(ゆうせい)くんの3兄弟を伴い、地生くんは「とても面白かった。将来はお父さんのようになりたい」と建設業への入職を希望した。



▶▶ 田島組の春田洋一監理技術者と参加した小学6年生の晟弥(せいや)くんは「田島組に入りたい」と将来の夢を語り、それを聞いた春田さんは「強制はしたことはないが、純粋に思ってくれていることが何よりうれしい」と目を細めていた。

